

中東欧経済情報

2024年9月号

ハンガリー関連ニュース

ハンガリーの研究開発費、2023年に26億1982万*ユーロに到達

ハンガリー中央統計局（KSH）がまとめたデータによると、ハンガリーの研究開発費は2023年に26億1982万ユーロに達した。この研究開発費はハンガリーGDPの1.38%に相当する。研究開発費の内訳としては73%が企業、16%が大学、11%が政府からのものとなった。研究開発費が最も高かった分野

*修正

は工学・電子工学産業で、3億8162万ユーロを達成。製薬産業が3億6879万ユーロと続き、IT産業が3億3572万ユーロの支出と続く。研究開発分野では、合計で88,000人以上が雇用された。研究成果に関する論文や記事は37,000本以上記載され、その3分の2が外国雑誌にも発表されている。

出典：Budapest Business Journal

バッテリー生産がGDPの倍増へ貢献

ナジ・マルトン国家経済相によると、バッテリー関連プロジェクトの投資が本格的に開始すれば、ハンガリーGDPへのバッテリー関連分野からの貢献度は倍増となる可能性がある。現在、ハンガリーのバッテリー関連分野はGDPの5.5%を占めているが、計画段階にある全ての製造工場が完成すれば、GDPに占める比率は10~11%に上昇し、ハンガリーは世界のバッテリー産業分野でのパイオニアになると考えられている。ナジ氏は、ハンガリーが年間で100億ユーロ相当のバッテリーおよび関連部品を輸出していると付け加えた。

同氏はEV業界でのスピード鈍化を認めただうえで、その理由として、ドイツのEV関連補助金の廃

止を指摘した。EVの新車販売シェアが欧州では15%であるが、中国では30%を超えている。EVの新車販売シェアは米国ではわずか5%、ハンガリーは約6%にとどまる。研究者がより高性能で安価なバッテリーの開発に取り組んでいることから、2~3年でEV市場が回復すると予想されている。

マクロ経済の見通しについては、ハンガリーのGDP成長率の2024年目標が2.5%、2025年が4.1%であり、欧州連合の競争力の回復した場合のみ達成可能であるとナジ氏は発言している。

出典：Budapest Business Journal

BYD製バッテリーEVがハンガリー市場をリード



中国のBYDは、2024年7月にハンガリーでEV車新車148台を販売し、バッテリーEV市場をリード。同月では、ハンガリー市場の25.4%を占めた。BYDはハンガリーでの現地販売を2023年10月から開始している。2024年には、バッテリーEV市場のシェアで12.7%を獲得、現時点ではハンガリー市場で第2位に位置する。

出典：Budapest Business Journal
画像：Autó-Motor

ハンガリーとオーストリア、新たに高速道路の接続を決定

ハンガリーとオーストリアは、高速道路M80とS7を接続させるプロジェクトの協定に調印した。ナジ・バーリント国務長官とアレクサンダー・グルブマイヤー駐ハンガリー・オーストリア大使が署名したこの協定により、2025年にハンガリーのM80とオーストリアのS7が接続する。この国境を越えた道路は、中欧の道路網のさらなる改善に貢献し、ハンガリーの経済力を押し上げるだろう、と同省は述べた。

出典：Budapest Business Journal



ハンガリーのEVバッテリーメーカーは中国市場で競争できるのか？

2024年7月、中国の新車市場では初めて、電気自動車とハイブリッド車が従来のガソリン車やディーゼル車を上回った。また、自動車販売台数全体が減少する中、メーカー各社はより多くの電池搭載車を販売ができた。中国では7月に新たに販売された乗用車の51%が電気自動車とハイブリッド車だっ

た。欧州連合では、6月に同比率は53%だったが、最新のデータによると、電気自動車のみのシェアは、中国では28%、EUでは14%だった。

一方、欧州では、電気自動車の販売台数が失速している。内燃機関車の新車販売規制を見直す動きが出ていて、2035年以降も環境に良い合成燃料を使

う内燃機関車の販売をさらに継続する可能性が浮上している。ただし、中国の自動車メーカーは依然として、欧州の電気自動車市場でこれまで以上のシェアを獲得しようと努めている。

欧州メーカー、特に高級カテゴリーのガソリン車やディーゼル車メーカーにとって中国は非常に重要な市場である。中国政府が中国で生産を行うEVメーカーに対して多額の補助金を給付しているために、中国メーカーの優位性や存在感がドイツ企業と比較して、次第に高まっている。

ハンガリー経済にとってドイツの自動車関連産業の役割は重要であり、中国自動車市場の動向は好ましくないと言える。ハンガリーに建設された中国バッテリー工場は、欧州ブランドの電気自動車モデルに必要なバッテリー生産を目的としている。バッテリー関連分野での減速傾向はハンガリーの工業生産量やGDPも影響を受けていて、解雇もすでに始まっている。将来、BYDはハンガリーだけでなく、欧州市場でもバッテリーおよび自動車を生産することが計画されており、EUの関税を回避する狙いがあるとみる。

Erste Investmentのアナリストであるプレツァー・タマシュ氏は、ハンガリーのガソリンスタンドでもすでに見られる原油価格の下落は、中国での電気（およびガス）自動車の急速な普及の結果と考える。中国の石油需要が抑えられているのは、経済が予想以上に低迷していることが一因。年初に中国の石油需要は日量50万～70万バレル増加すると予想されていたが、年間ベースでは減少する可能性もあるという事実が影響している。

出典：G7



ポーランド関連ニュース

成長するポーランド経済

ポーランド統計局（GUS）は、2024年第1四半期にポーランドのGDPが前年同期比で2%増加したと発表した。昨年の最終四半期の年間経済成長率は1%となった。

アンドレイ・ドマンスキー財務相は「ポーランド経済は2024年に3.1%、2025年に3.7%成長する」と述べている。

ポーランド中央銀行は今年3.5%、来年4.2%の経済成長を見込む。欧州復興開発銀行（EBRD）の5月予測では、ポーランド経済は今年2.9%、来年には3.5%成長すると予測。欧州委員会は5月にポーランド経済に対する成長率の期待を従来の2.7%から2.8%に引き上げた。

出典：Portfolio

ポーランド、EU理事会議長国任期中にグリーン政策の見直しを計画

ポーランド政府は、2025年前半にEU理事会議長国を務める際に、ETS2制度を含むEUの主要なグリーン政策の改定を優先的に取り組む方針を示した。

「ETS2」とはEUの新しい排出量取引制度で、建築物、道路交通およびその他の分野を対象としている。2027年にこの制度を施行する予定で、ポーランド経済とポーランド社会に大きな影響を与える可能性がある。

「ETS2制度はポーランドにとっては容認できない」とポーランド開発資金・地域政策大臣カタジナ・ペウチンスカ・ナウエンチ氏は主張している。この制度の導入に伴い、暖房に石炭やその他の化石燃料を使用している家庭の一般コストが大幅に引き上がるリスクをナウエンチ氏は付け加えた。

ポーランドは、ETS2の導入を1~2年遅らせようとしており、EU加盟国ごとの異なるエネルギー転換への出発点を考慮しつつ、気候変動目標を達成することを提案している。「ETS2の導入で暖房費が50%増加する世帯は約300万もある」と政府関係者は危惧する。



出典：Euractiv

ポーランドのドゥダ大統領、中国とよりバランスの取れた貿易を望む

ポーランドのアンドレイ・ドゥダ大統領は、6月24日に北京を訪問した際、ポーランドから中国への輸出量を増やす可能性について協議した。また、EUが同時に中国の電気自動車に課そうとする関税について中国と議論を開始した。

ドゥダ大統領は、ポーランドから輸出を増加させることで、中国との貿易がさらにバランスの取れるようになることを望むと述べた。二国間の貿易額は過去20年間、着実に成長しているが、中国製品の輸入がポーランド製品の輸出よりも急激に伸びてい

る。ポーランド開発基金（PFR）の最新データによると、2023年は中国からの輸入が第2位となった。輸入総額は470億ユーロを超える。

ポーランド経済における中国の役割やEUと中国の間関係を考えると、ポーランドにとって中国との良好な関係を維持することは極めて重要である。欧州委員会は2024年6月初め、中国政府がEVメーカーに対して多額の補助金を給付していることを問題視し、欧州市場に輸入される中国製の電気自動車に追加関税を課すことを明らかにした。

出典：Euractiv

スロバキア関連ニュース

中国からプレシヨフへ生産拠点を移管

スロバキアの不動産デベロッパーCTPは、スロバキアの工業用および物流用スペース約17,500m²を自動車向け内装部品を製造する中国企業、江蘇新泉汽車零部件（Jiangsu Xinquan Automotive Trim）とレンタル契約を取り交わした。

CTPは江蘇新泉汽車零部件がスロバキアに欧州初の工場を開設することを楽しみにしているとし、進出先のCTPark Presšov Southは交通の利便性に優れた戦略的な立地であることを強調した。江蘇新泉汽車配件有限公司の董事長兼総経理である唐志華（Tang Zhihua）氏は、「CTPark Presšov Southで提供される設備により、ユーザーに近い場所で効率的に製品を製造することができる。自動車産業がいかに中東欧地域の産業を牽引しているかだけな

く、欧州に製造拠点を置きたいと考える多国籍企業にとって、中東欧が優れた場所となっているかを示している。」と述べた。

CTPのスロバキア担当事業開発ディレクターのイヴァン・パステイエ氏は、「スロバキアのポートフォリオの大部分は自動車関連企業で占められており、近隣国へのアウトソーシングの流れを受けて、自動車会社やアジアのメーカーが自動車生産を中東欧諸国にシフトし続けていることから、この数はさらに増加すると予想される」と述べる。

CTPark Presšov Southはスロバキア第3の都市であるプレシヨフ市に位置し、コシツェとは高速道路で結ばれている。

出典：Eurobuild CEE

ミネベアミツミがコシツェに新しい研究開発センターを開設

ミネベアミツミは、コシツェに新しい研究開発センターを開設した。製造プログラムの拡大、自動車市場向けの新製品やアプリケーションの開発強化、産業用電気モーターの開発を目的とする。高度な資格を持つエンジニアを含め、最大で200人が研究開発センターで働く。ミネベアミツミが技術進歩の推進と地域経済の発展のためにコシツェ工科大学やその他の大学との協力を強化していく。

同センターは、BLDCモーター、アクチュエーター、ソフトウェア設計、ソフトウェア・テストのための産業用および自動車用ソリューションの開発に特化し、地域の産業環境を形成し、充実させる。特に注目すべきは、欧州で最も近代的な電磁両立性（EMC）試験室の存在。自動車業界の厳しいCISPR25規格に準拠し、製品の最高の品質と信頼性を保証するための高度な試験を可能にしている。

出典：Spectator

スロバキア北部で革新的なバッテリーを生産



蓄電池は天候に恵まれない際に電気を蓄えることができるため、グリーン電力生産の重要な一翼を担う。スロバキアはエネルギーの多くを国外からの輸入に依存している。INO-HUBエネルギー社は、スロバキア北部のキサツケ ノヴェ メスト市にエネルギー貯蔵用バッテリーを生産する新工場の建設を計画している。この工場には科学研究センターも併設される。投資額は約550万ユーロの予定。90名を雇

用するこのプロジェクトでは、51人は作業員、39人は管理部門と研究所に勤務する。2025年の第1四半期に建設を開始し、翌年には操業する予定。同社の目標は環境に悪影響を与えず、リチウムや鉛などの電池に代わる持続可能なソリューションを導入すること。工場の操業には再生可能な資源を使用する。

出典：Spectator

チェコ関連ニュース

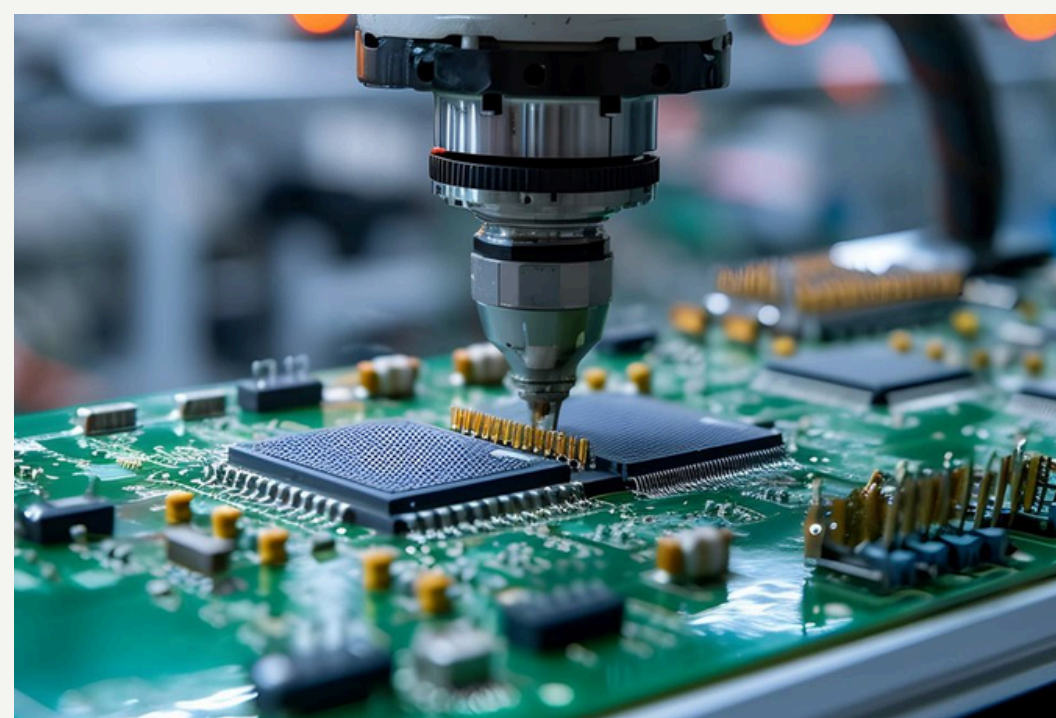
アメリカのチップメーカーonsemi社が、ロジュノフポトラドホシュテム市にある工場の拡張に17.9億ユーロ以上の追加投資計画を発表

アリゾナ州に本社を置くonsemi社は、ロジュノフポトラドホシュテム市にあるチップ工場の生産能力を拡張するために、約17億9000万ユーロの追加投資を計画していると発表した。

半導体部品業界の世界リーダーであるonsemi社がこの大規模な追加投資プロジェクトを決定した主な理由は、炭化ケイ素をベースとした先端チップの生産量を増やすことが目的。このチップは、自動車産業、特に電気自動車にとって極めて重要であり、電気自動車の航続距離の延長や効率の向上に貢献する。

onsemi社は現在ロジュノフポトラドホシュテム市の工場ですべて1,000万個のチップを製造しており、チェコにある他の拠点と合わせて2,300名

を雇用している。このような規模のプロジェクトはチェコ産業の将来にとって非常にインパクトが強く、さらに1,000人の雇用を創出することになる。



出典：Czech Invest

チェコの平均賃金、V4諸国の中で最も伸び悩む

2024年第1四半期のチェコの民間部門平均賃金は前年同期比6%増の1,779ユーロとなり、ヴィシエグラード・グループ（V4）諸国の中で最も伸び悩んだ。チェコの実質賃金は今年第1四半期に約5%上昇し、実質賃金が増えたのは約2年ぶりである。

V4諸国の昨年の賃金上昇率は様々であった。ポーランドは25%増と最も高い伸びを記録し、平均

1,795ユーロに達した。スロバキアとハンガリーもチェコを上回る伸びを示し、平均賃金はそれぞれ1,383ユーロと1,597ユーロだった。

今年の実質賃金は約8~12%伸びると予測されている。また、2024年の実質賃金は3~4%成長するとみている。2023年の実質賃金は、高インフレの影響で約3%減少した。

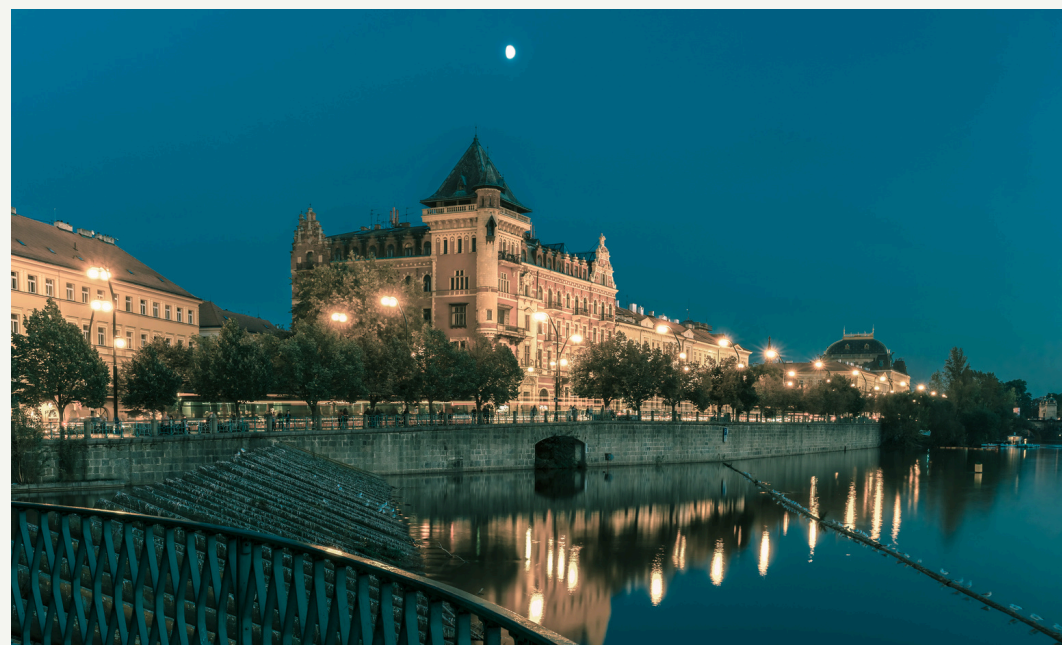
出典：Expats.cz

北欧の成功モデルをベースに、チェコが外国人スペシャリストを呼び寄せるための独自のポータルを開設

チェコインベストは、北欧の例に倣い、「チェコで働こう」というスローガンで外国人スペシャリストを呼び寄せるポータルを開設した。

「Work in Czechia」ウェブサイトとは

- チェコが、特に技術分野において優れた国であることを紹介
- 外国人が知らないチェコの側面を紹介
- 求人情報の提供
- ビザ取得方法のアドバイス
- チェコで外国人を支援する他の組織とのリンク



出典：Czech Invest

ルーマニア関連ニュース

EUが交通インフラ整備に1億4,900万ユーロの資金をルーマニアに支給

欧州委員会は交通インフラプロジェクト9件（うち1件はルーマニア国内プロジェクト、8件は多国間プロジェクト）に対してルーマニアに1億4,900万ユーロの資金を供給する予定。

このプロジェクトには、ドナウ川沿いのルーマニアとブルガリア間の国境を越えた道路を改善する内陸水路のインフラ整備が含まれる。また、ウクライナに対する「EU連帯回廊」の輸送能力を向上させるため、ウクライナ、モルドバ、ルーマニア間の通過地点における道路輸送インフラ工事も計画に含まれる。



出典：SeeNews

ルーマニア政府が人工知能戦略を承認

ルーマニア政府は、EUが人工知能分野でグローバルリーダーとなるという目標に合うよう、2024~2027年にかけて国家人工知能戦略を承認した。

ルーマニアは最新トレンドに追いつきながら、規制の枠組みを構築し、戦略に従って国の状況に適した技術を採用するための方針を設定する必要がある。このため、学術、ビジネス、研究、イノベーシ

ョン、行政の連携を通じて、科学、技術革新、投資の専門知識の活用を含める。

デジタル面での発展をスピード化させるため、変革は5つの戦略軸を通じて実施される。デジタル行政、デジタル経済、デジタル教育、サイバーセキュリティ、デジタル通信および未来技術。人工知能がルーマニアの経済状況を一変させることを政府が期待している。

出典：Euractiv

ブルガリア関連ニュース

EU内で最も低い最低賃金レベルのブルガリア

EUの統計機関Eurostatが2024年7月30日に発表したデータによると、最低賃金を定めているEU加盟加盟国22カ国のうち、ブルガリアがEU内で最も低い水準となった。一方で、ブルガリアの最低賃金は2014年7月から2024年7月までの間、年平均で10%以上増加している。

欧州連合のメンバー27カ国のうち22カ国が最低賃金を設定しているが、2024年7月現在、EU各国の最低賃金はブルガリアの月額477ユーロ相当からルクセンブルクの月額2571ユーロ相当まで大きな格差がある。最低賃金を設定していない国は、デンマーク、イタリア、オーストリア、フィンランド、スウェーデン。2014年7月から2024年7月までの間に年平均上昇率は、ルーマニア（13.7%）で最も高く、続いてリトアニア（12.3%）、ブルガリア

（10.6%）、ポーランド（9.5%）、チェコ（9.3%）が続く。年の平均上昇率が最も低かったのは、フランス（2%）、マルタ（2.6%）、ルクセンブルク（3%）であった。



出典：The Sofia Globe

ブルガリアは、シェンゲン協定加盟の延期で2024年に約10億ユーロを損失

ペトコ・ニコロフ経済・産業相はブルガリアがシェンゲン圏への完全な加盟延期となったことで、2024年現在7億ユーロ（直接損4億2,300万ユーロ、給付損2億2,500万ユーロ）の損失を被ったと述べた。

ブルガリアはルーマニアとともに2024年3月末にシェンゲン協定加盟国となったが、現時点で空路と海路の国境のみが対象となる。ニコロフ氏は、ブルガリアがシェンゲン域内に陸路でアクセスできる場

合、375万ユーロ相当の輸送による炭素削減が実現可能になると付け加えた。ブルガリアのシェンゲン協定への完全な形での加盟は欧州連合への統合のためにも重要なポイントであると強調する。

ブルガリア政府は、シェンゲン協定に完全に加盟を果たすことで、ルーマニアやギリシャとの国境での激しい交通渋滞が緩和され、地域の物流インフラの発展に貢献すると指摘した。

出典：Euractiv

セルビア関連ニュース

セルビアで数千人がリチウム鉱山再開に抗議

2024年7月29日、セルビアで2年間閉鎖されていたリチウム鉱山の再開に反対する大規模な抗議デモの後、数1000人規模の集会が開かれた。

セルビアの西部のロズニツァ近郊には広大なリチウム鉱山があり、資源大手Rio Tintoが採掘開始を目指している。少なくとも1,000人が集まった3つのデモ行進はセルビアのテレビチャンネルN1でも放送された。

2024年7月にEUとセルビアはリチウムの供給開発を開発する目的で協定を締結した。過去に一度開発中止となったこの鉱山開発の許可は、欧州のグリーン経済への移行を達成するための重要なステップではあるが、環境汚染を懸念する声も上がっている。



出典：Euractiv

セルビア、紫金鉱業集団の拡張で欧州最大の銅生産国に



紫金鉱業集団（Zijin Mining Group）はセルビアでの投資プロジェクトの年間生産能力を増加させることを発表した。同社の取締役会長陳景河（Chen Jinghe）氏によると、銅が45万トン、金が10トンに増えて、セルビアが欧州で最大の銅生出国になる見通し。

紫金鉱業集団による投資は以前に計画されていた11億3,000万ユーロから4倍規模となり、新規投資

の生産量はセルビア政府と2018年に締結された協定に含まれる数字を上回る見込みである。

「昨年、セルビアで24万トンの銅と7.5トンの金を生産し、建設の第一段階を完了した」と、紫金鉱業集団の陳景河氏が述べた。今後の投資は、推定埋蔵量が約2000万トンの銅と700～800トンの金の地下銅鉱山と金鉱山の開発に焦点を当てる予定。

出典：CorD

Fortis Energyがセルビアで180MW太陽光発電プロジェクトを買収

トルコの再生可能エネルギー企業Fortis Energy社は、セルビア北西部のスレムスカ・ミトロヴィツァ市にあるバッテリーエネルギー貯蔵システム（BESS）を備えた180MWの太陽光発電プロジェクトを買収したと発表した。このプロジェクトは、南東欧で最大の太陽光発電所および蓄電システムになることが期待されている。

Fortis社は、36MWhの容量のBESSを設置する計

画であり、2025年に建設が始まる予定。Fortis社はセルビアに開発中の太陽光発電プロジェクトをすでに4カ所持ち、その合計容量は500 MWである。その他、合計容量が509.4 MWである3つの風力発電所プロジェクトも開発している。今年セルビア北部のヴォイヴォディナ州で3 MWのバイオガス発電所の稼働を開始させたばかり。

出典：SeeNews

シュディ社関連ニュース

シュディ社がポーランド・ハンガリー商工会議所



日本と欧州を繋げるハンガリー企業として、シュディ社は中東欧地域各国との関係の強化に取り組んでいます。この度、ポーランド・ハンガリー商工会議所に加入しました。今後、弊社のポーランドで

のネットワークをさらに広げ、ポーランドを検討されている日系企業様のサポートを目指していきながら、ポーランドのコミュニティの発展に貢献していきたいと考えています。

シュディ社・JCO社は異文化理解トレーニングサービスを中東欧地域へ拡大



弊社は、ベルギーのジャパンコンサルティングオフィス（JCO）社と連携し、異文化理解トレーニングサービスを行っています。今後はハンガリーだけでなく、その他中東欧諸国でも異文化理解研修および生産性向上トレーニングサービスを拡大していきます。

異文化理解や異文化コミュニケーションに関するニーズやご希望がありましたら、お気軽に弊社までお問い合わせください。

ニュースの引用元

ハンガリー関連ニュース

- <https://bbj.hu/business/tech/science/hungary-randd-spending-reaches-huf-1-032-tln-in-2023/>
- <https://bbj.hu/business/industry/manufacturing/battery-production-contribution-to-gdp-set-to-double/>
- <https://bbj.hu/business/industry/automotive/byd-leads-hungary-market-for-battery-only-evs/>
- <https://bbj.hu/business/industry/transport/hungary-austria-to-connect-expressways/>
- <https://g7.hu/vilag/20240809/nagy-kar-hogy-nem-kinaba-szallitanak-a-magyar-akkugyarak/>

ポーランド関連ニュース

- <https://www.portfolio.hu/gazdasag/20240603/lenduletet-vett-a-lengyel-gazdasag-689887>
- <https://www.euractiv.com/section/politics/news/poland-aims-to-revise-eu-green-policies-during-council-presidency/>
- <https://www.euractiv.com/section/politics/news/polands-duda-wants-more-balanced-trade-with-china-as-brussels-discusses-tariffs/>

スロバキア関連ニュース

- <https://eurobuildcee.com/en/news/34555-from-china-to-presov>
- <https://spectator.sme.sk/c/23334328/japan-minebeamitsumi-opens-new-rd-centre-in-kosice.html>
- <https://spectator.sme.sk/c/23330519/inovative-slovak-batteries-to-be-produced-in-northern-slovakia.html>

チェコ関連ニュース

- <https://www.czechinvest.org/en/Homepage/News/June-2024/American-chip-manufacturer-onsemi-has-announced-an-investment-of-more-than-CZK-40-billion-in-the-exp>
- <https://www.expats.cz/czech-news/article/czechia-s-average-wage-grows-the-least-out-of-all-v4-countries>
- <https://www.czechinvest.org/en/Homepage/News/June-2024/Based-on-the-successful-Scandinavian-model,-Czechia-has-its-own-portal-for-attracting-foreign-professionals>

ニュースの引用元

ルーマニア関連ニュース

- <https://seenews.com/news/romania-to-get-149-mln-euro-in-eu-funds-for-transport-infrastructure-1260754>
- <https://www.euractiv.com/section/politics/news/romanian-government-approves-artificial-intelligence-strategy/>

ブルガリア関連ニュース

- <https://sofiaglobe.com/2024/07/30/in-spite-of-increase-bulgaria-still-has-lowest-minimum-wage-in-eu/>
- <https://www.euractiv.com/section/politics/news/bulgaria-loses-almost-e1bn-due-to-schengen-accession-delays-this-year/>

セルビア関連ニュース

- <https://www.euractiv.com/section/enlargement/news/thousands-across-serbia-protest-lithium-mine-restart/>
- <https://cordmagazine.com/serbia/serbia-set-to-become-europes-top-copper-producer-with-zijin-mining-expansion/>
- <https://seenews.com/news/fortis-energy-buys-180-mw-solar-project-in-serbia-1261251>